

資料 1

都 市 防 災 委 員 会
資 料
(追加)

平成 30 年 7 月 23 日

危 機 管 理 室

目 次

I 報	告	平成 30 年 7 月豪雨への対応について……………	1
-----	---	----------------------------	---

I. 報告

平成 30 年 7 月豪雨への対応について

1. 概要

平成 30 年 7 月豪雨では、7 月 5 日未明に大雨警報等及び土砂災害警戒情報が発表され、7 月 7 日までの総雨量は神戸市中央区で 466.0 ミリと、昭和 13 年の阪神大水害の総雨量を上回り、各地で土砂崩れをはじめとした災害が発生した。

危機管理室では、7 月 5 日午前 3 時 55 分に神戸市災害警戒本部を立ち上げ、市内の被害状況の把握に努めるとともに、適時・適切に避難指示等の情報を発信できる体制を確保し、各局室区と連携の上、災害対応にあたった。

市内の被害復旧を急ぐとともに、7 月 17 日には「平成 30 年 7 月豪雨」応援本部を設置し、被害の大きかった岡山県内や広島県内の市町に応援職員を派遣し、阪神・淡路大震災を経験した神戸市としての役割を果たしていく。

2. 被害状況など

(1) 人的被害

軽症 1 名（東灘区 1 名）

(2) 建物被害（今後、被害家屋調査の作業により変わってきます）

半壊 1 件（垂水区 1 件）

一部破損 9 件（兵庫区 1 件、北区 1 件、長田区 1 件、須磨区 3 件、垂水区 3 件）

床上浸水 21 件（灘区 20 件、北区 1 件）

床下浸水 39 件（灘区 21 件、兵庫区 9 件、須磨区 1 件、北区 1 件、垂水区 6 件、西区 1 件）

(3) その他被害

河川越（溢）水 3 件

池越（溢）水 5 件

側溝（溢）水 27 件

土砂崩れ 108 件

土石流 1 件

擁壁（石垣）崩れ 8 件

その他 45 件

※一部再掲

3. 対応状況

日時	内容
7 月 5 日 3 : 55	神戸市災害警戒本部設置
7 月 5 日 5 : 00	全市防災指令第 2 号発令
7 月 5 日 7 : 00	各区災害警戒本部設置
7 月 8 日 8 : 45	全市防災指令第 2 号を、水防関係部局は防災指令第 2 号、その他の部局は防災指令第 1 号に変更
7 月 8 日 17 : 00	水防関係部局の防災指令第 2 号を灘区を除き解除、その他の部局の防災指令第 1 号を解除
7 月 10 日 14 : 00	平成 30 年 7 月豪雨災害に関する対策会議開催
7 月 17 日 12 : 00	「平成 30 年 7 月豪雨」応援本部設置

4. 避難情報等の発令（発令時実績※）

	避難指示（総数）	避難勧告（総数）	避難準備・高齢者等避難開始
合計	33件	14件	4件
	499世帯 1,051人	48,744世帯 104,084人	10,239世帯 22,589人

※ 避難勧告から避難指示に引き上げたものは避難指示に計上。

※ 避難指示から避難準備・高齢者等避難開始に引き下げたものは、避難準備・高齢者等避難開始に計上。

7月18日時点において、116世帯 247人に避難指示、24世帯 39人に避難勧告、133世帯 268人に避難準備・高齢者等避難開始が、それぞれ継続中。

5. 避難の状況（7月19日9:00時点）

No	区	緊急避難場所	避難数		備考
			世帯数	人数	
1	灘区	王子スポーツセンター	2世帯	2人	
2	灘区	神戸大学人間発達環境学研究科	3世帯	5人	
全市合計			5世帯	7人	

※ピーク時：205世帯・418人（56箇所）

6. 灘区篠原台の土砂災害への対応

（1）被害状況

7月6日 民間所有地の崩土が私道および沿道宅地敷地内に流入する土砂災害が発生

（2）避難状況

209世帯、420人が居住する区域に避難指示を発令

（7月18日時点では、76世帯、152人に避難指示継続、その他は、避難準備・高齢者等避難開始に引き下げ）

（3）対応状況

①7月8日 神戸市で私道の流出土撤去作業を開始

私道ではあるが、「異常気象」「規模と影響」「早期生活復帰」の観点から総合的に判断し、市において、撤去作業を行った。

②7月14日 灘区篠原台住民説明会を開催

神戸大学学識経験者の支援を得て、ドローンなどの先端技術により現状把握を実施。

復旧作業の内容及び8月中旬頃に避難指示解除見込みであること、市営住宅の一時使用などの支援施策について、灘区篠原台にお住まい方に説明。

③ワンストップで、被災者に寄り添った支援を行う「灘区篠原台緊急対策チーム」の設置

7. 被災者への支援

（1）市営住宅一時使用

災害時、使用期間は6ヶ月以内、使用料免除期間は3ヶ月であったが、使用期間は原則1年（1年を限度に更新可）、使用料は全て免除できるよう見直す方針。

（2）土砂等の流入により、衛生面の確保が難しい方への消毒液の提供等の支援

（3）避難所入所者に対して、神戸市浴湯組合連合会との協定により、災害時の入浴確保

（4）表六甲ドライブウェイが通行止めのため、代替道路として使用される六甲山トンネルの無料通行証の配布

（5）避難が長期化している王子スポーツセンターの駐車場を無償化

8. 他都市への応援（7月19日時点）

	期間	派遣先	派遣職員数	備考
水道局応急給水隊	7月9日～12日	岡山県小田郡矢掛町（7/11より倉敷市へ移動）	10	給水車2台、指揮車等2台、応急給水袋500個
	7月12日～18日	岡山県倉敷市	7	給水車2台、指揮車等2台、応急給水袋500個
	7月18日～	岡山県倉敷市	7	給水車2台
緊急消防援助隊	7月9日～11日	高知県	8	兵庫県大隊2隊 （兵庫県後方支援隊5名、航空小隊3名）
	7月12日～15日	広島県	22	兵庫県大隊指揮隊5名、救助隊2隊9名、後方支援隊8名
	7月15日～18日	広島県	22	兵庫県大隊指揮隊5名、救助隊2隊9名、後方支援隊8名
	7月18日～	広島県	22	兵庫県大隊指揮隊5名、救助隊2隊9名、後方支援隊8名
保健衛生隊	7月10日～13日	岡山県倉敷市	4	第1次保健衛生隊 （保健師2名、事務職1名、自動車運転手1名）
	7月13日～18日	岡山県倉敷市	4	第2次保健衛生隊 （保健師2名、衛生監視員1名、事務職1名）
	7月18日～23日	岡山県倉敷市	3	第3次保健衛生隊 （保健師2名、事務職1名）
ごみ収集・運搬支援（環境局）	7月14日～（20日で第2陣と交代予定 ※通算派遣期間は未定）	岡山県総社市	30（※別途先遣隊5名派遣済み）	作業車10台
土嚢袋の緊急送付	7月16日	岡山県倉敷市		倉敷市長から神戸市長に対する緊急要請。15日夕刻から、翌日早朝にかけて、消防署や建設事務所から約20,000枚の土嚢袋を急遽集積し、16日9時20分に発送。
家屋被害認定調査 （広域連合からの要請）	7月17日～21日	岡山県倉敷市	4	
避難所運営支援 （広域連合からの要請）	7月19日～25日	岡山県倉敷市	2	